

# 大分市歴史資料館

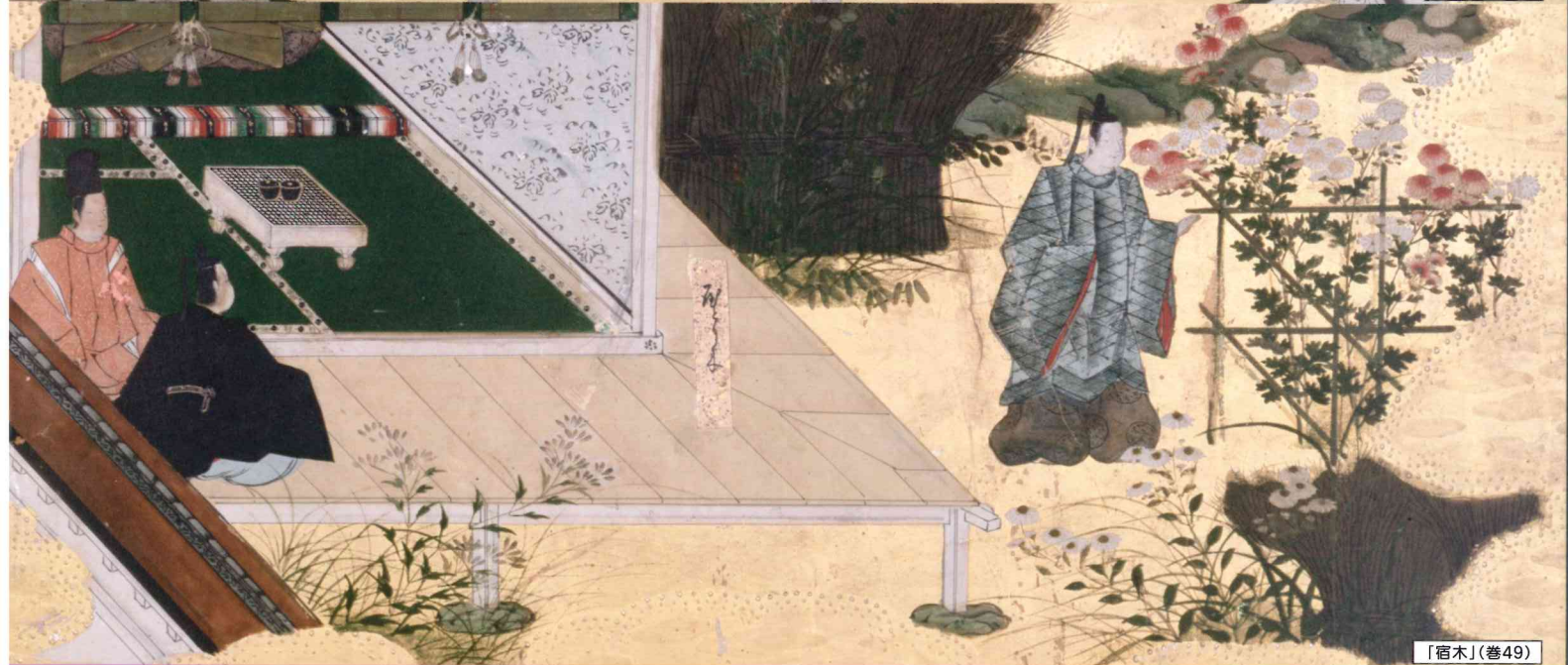
OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

## ニュース

vol.

118

2018.4.28



平成30年度テーマ展示Ⅰ

会期

4月28日(土)～

6月17日(日)

# 王朝文化へのいざない

# 源氏物語絵



# ~王朝文化へのいざない~ 源氏物語絵

会期：4月28日(土)～6月17日(日)

げんじものがたり きたい きこうし ちやうへんしやうせつ  
『源氏物語』は稀代の貴公子「光源氏」を主人公とする長編小説で、  
むらさきしきぶ こてんぶんがく さいこうけっさく  
紫式部が平安時代に書いた、わが国古典文学の最高傑作です。

本展では、『源氏物語』を見事に描写した「源氏物語絵」をはじめ、貝合や百人一首、大友義統が  
『源氏物語』の一節を色紙に書き写した「十二月言葉手鑑」など、当館が所蔵する資料を中心に紹介します。  
今もなお多くの人を魅了してやまない、『源氏物語』の描く王朝文化の世界へ、皆さまをいざないます。

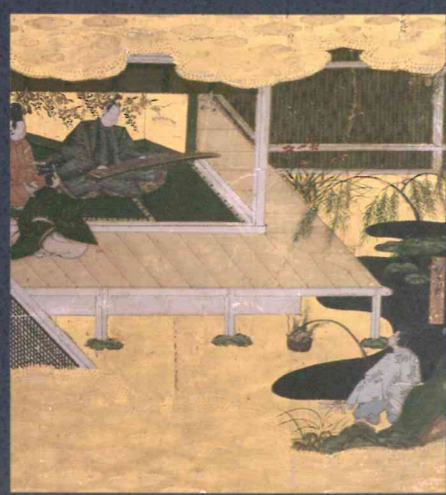
## I. 源氏物語絵をみる

『源氏物語』全五十四帖から一帖一場面を描いた「五十  
四帖屏風」の一部で、宇佐八幡宮の社家に伝わったものと  
言われています。面長に引目鉤鼻の人物像や丸みのある岩  
や緩やかな線を基調とした樹木の表現などから、狩野永徳  
の長男で近年注目される光信(1561/65～1608)の工房  
で桃山時代末頃に描かれた作品と考えられています。

本絵は「五十四帖屏風」の初期の作品として大変貴重  
で、雅やかな物語に調和する狩野派の彩色画を堪能してい  
ただけると思います。



「竹河」(巻44)



「篝火」(巻27)

## II. 貴族のあそび

「源氏物語絵」には、秋の夕日に扇をかざす夕霧や馬に  
乗り明石の君のもとへ向かう源氏のように、物語を印象付  
けるさまざま場面が登場します。そのなかで、船に乗り管弦  
を楽しみ、庭の桜の花を賭けて碁を打つ様子など、平安貴族  
の優雅なあそびの数々も描写されています。

第二章では、貝合の道具を展示し、二枚貝に描かれた  
物語絵などから貴族のあそびを紹介します。



貝合の道具(貝桶・貝合)



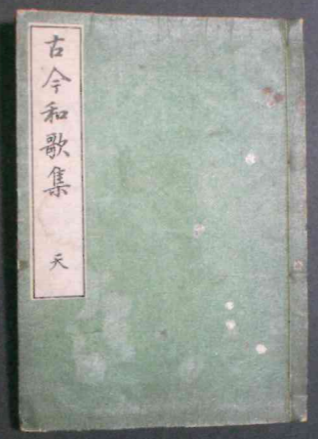
貝合に描かれた花鳥図など

## III. 貴族の教養

『源氏物語』では数多くの和歌が詠まれています。それは  
登場人物の心情や物語の情景を色鮮やかに演出しており、  
『源氏物語』の人気を揺るぎないものにしたと言っても  
過言ではありません。

和歌は、平安時代のはじめに誕生した王朝文学の一つ  
で、繊細で機微に富んだ日本語の詩を「かな文字」で表現  
した日本固有の文学です。

第三章では、日本最古  
の勅撰和歌集である  
『古今和歌集』や百人一首  
などから、平安時代に開  
花した国風文学の一端  
をご覧ください。



『古今和歌集』

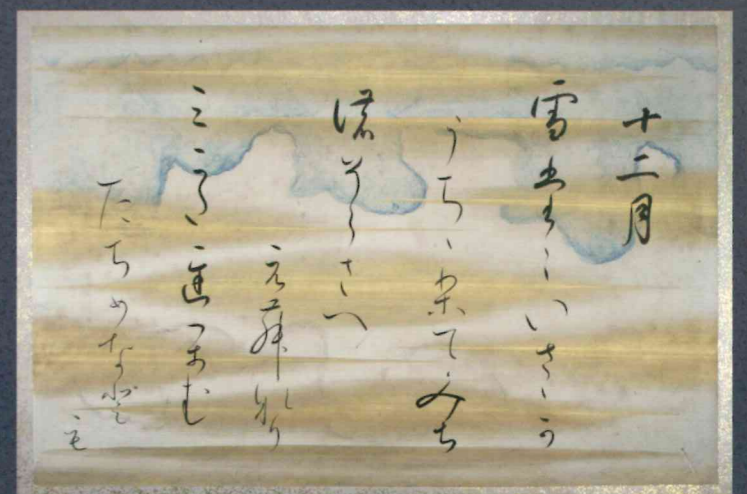
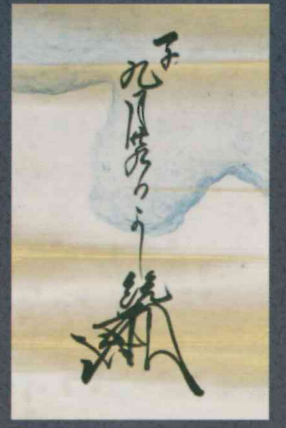


百人一首

## IV. 武士の教養

桃山時代の武将たちは、文化的  
権威を求め、公家文化への憧憬  
を強めていきました。そのなかで  
彼らは、茶の湯や和歌・連歌に興じ、  
古典文学を学びました。

「十二月言葉手鑑」は、大友家 22  
代当主の義統が『源氏物語』から  
各月にちなんだ一節を選び、金泥な  
どで彩られた綺麗な料紙に天正 16 年 (1588) の 9 月 29 日  
に書き写したものです。この年に行われた京都の聚楽第での  
和歌会では一首歌を詠んでおり、本資料は大友義統の和歌や  
古典文学、書に対する造詣の深さを示す大変貴重なものです。



「十二月言葉手鑑」

イエズス会士日本書簡集 (ドイツ語版)

ドイツのアウグスブルクで刊行された全3巻からなるイエズス会日本書簡集のドイツ語版です。

第1巻は1795年に刊行され、1548～1564年の書簡(39通)が収められています。扉絵に、豊後王大友宗麟の前で聖フランシスコ・ザビエルと仏僧(Fucarandono フカランドノ?)が宗論する様子が描かれています。第2巻は1796年に刊行され、1565～1580年の書簡(20通)が収められています。扉絵に、宗麟の洗礼の場面が描かれています。第3巻は

1798年に刊行され、1581～1585年の書簡(12通)が収められています。扉絵に、ローマ法王グレゴリオ13世に謁見する天正遣欧使節の様子が描かれています。

本書は、ザビエルの東方における布教の成功を、宗教改革後カトリックが勢力を挽回した象徴として広くアピールする目的で出版されました。豊後王大友宗麟の、西洋における認知度をうかがい知る貴重な資料です。



第3巻扉絵「宗麟洗礼の場面」

テーマ展示Ⅲ「大分の刀剣」を開催しました

かつて刀剣の一大生産地であった大分市高田地区、高田物と呼ばれたその刀は「折れず」「曲がらず」「よく切れる」実用刀として高い評価を得ていました。今回の展示は、日本美術刀剣保存協会大分支部の協力を得て、豊後刀を中心に31振を展示。刀装具や、現在の刀工による刀剣の製作工程を示す資料も紹介しました。会期は、前期と後期に分け、1月27日～4月2日まで開催しました。

展示期間の入場者数は、「刀剣女子」の言葉に代表される近年の刀剣ブームとあいまって、4,500人を数えました。また会期中の2月11日に開催された、真野和夫さんを招いての展解説講座も関心が高く、132名の受講者に会場は満席となり、急きょ廊下に席をつくるほどでした。

利用案内

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)

■休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館  
但し第1月曜日は開館し、  
翌火曜日が休館日  
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館  
年末年始 12月28日～1月4日



■観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)  
中学生以下 無料 ※団体は20名以上  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳  
の交付を受けている方とその介護者は無料。  
◎入館時に受付で手帳を提示してください。



■交通機関  
・JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分  
歴史資料館入口下車 徒歩5分  
・大分自動車道 大分I.C.・光吉I.C.よりとも約15分



発行日:平成30年4月28日

発行:大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL097-549-0880 Fax097-549-5766

※大分市ホームページの「文化・スポーツ・観光>歴史>大分市歴史資料館」も併せてご覧下さい。

(<http://www.city.oita.oita.jp/>)

ふれあい歴史体験講座

定員 各回50～70名程度(先着順)

時間 午前の部 9時30分～(約2時間)  
午後の部 14時00分～(約2時間)

|     | 実施日      | 内容      | 材料費  | 受付開始日    |
|-----|----------|---------|------|----------|
| 第1回 | 4月21日(土) | 勾玉作り    | 250円 | 4月 4日(水) |
| 第2回 | 5月19日(土) | 土偶作り    | 180円 | 5月 3日(木) |
| 第3回 | 6月 2日(土) | 土笛作り    | 70円  | 5月17日(木) |
| 第4回 | 6月16日(土) | 粘土はにわ作り | 250円 | 6月 3日(日) |
| 第5回 | 6月30日(土) | 七夕飾り作り  | 100円 | 6月17日(日) |

応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。  
(大分市歴史資料館:097-549-0880)

昔のおもちゃで遊ぼう

内容 歴史資料館隣の広い史跡公園で、竹馬・竹とんぼ・竹弓矢・コマなどの昔のおもちゃで、思い切り遊びます。体験当日は、手押し式消防ポンプ体験を家族みんなで力を合わせて行います。

日時 5月5日(土)【こどもの日】  
9時30分～16時(15時受付終了)

参加費 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。



刀 銘「平長盛」



展示解説講座